



▲つるぎ会館で診察を行う総合診療専攻医の谷口医師と外来看護師



▲介護予防の体操教室の様子

理学療法士の指導で介護予防の取り組みである**体操教室**を、地域の方と一緒にを行いました。また、病院の売店の出張営業や健康教室等もありますので受診のない方もお気軽にご利用ください。

診察をされた方の中で、医師の指示があった方は理学療法士の個別指導も行いました。

巡回診療では、下記の検査等も可能です。体調不安についてのご相談等、お気軽においでください。

- 超音波検査
 - 血液検査
 - ワクチン接種(予約制)
 - ・インフルエンザワクチン
 - ・带状疱疹ワクチン
 - ・肺炎球菌ワクチン
- 3種類のワクチンが接種できます。

令和5年10月18日、日南町上萩山地区の「つるぎ会館」をお借りして、巡回診療をスタートしました。これは当地域が医療サービスを受けにくい「無医地区」として厚生労働省に認定されたことを受け、県からの要請もあり開始したものです。

日南病院では、今後も毎月第3水曜日に「つるぎ会館」でこの巡回診療を行ってまいります。

巡回診療スタート!!



▲巡回診療の会場となった「つるぎ会館」

	月	火	水	木	金	土	日
	11月27日	11月28日	11月29日	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日
午前 (AM)	インフルエンザ (診察がある方のみ)					-	-
午後 (PM)	新型コロナ (予約制)	インフルエンザ	新型コロナ (予約制)	インフルエンザ	-	-	-
	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日
午前 (AM)	インフルエンザ (診察がある方のみ)					-	-
午後 (PM)	新型コロナ (予約制)	インフルエンザ	新型コロナ (予約制)	インフルエンザ	-	-	-
	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日
午前 (AM)	インフルエンザ (診察がある方のみ)					インフル (予約制) 内科・小児科	-
午後 (PM)	-	インフルエンザ	-	インフルエンザ	-	-	-
	12月18日	12月19日	12月20日	12月21日	12月22日	12月23日	12月24日
午前 (AM)	インフルエンザ (診察がある方のみ)					-	-
午後 (PM)	-	インフルエンザ	-	インフルエンザ	-	-	-

※午後の受付時間は**13時30分**からです。
 ※土曜日および小児科のインフルエンザワクチンは**予約**が必要です。
 ※新型コロナウイルスワクチンの接種日は、供給状況等により変更となる場合があります。
 ※带状疱疹ワクチン等その他のワクチン接種日は、この限りではありません。
 予約の際にお問い合わせください。
 ※65歳以上の**肺炎球菌ワクチン (予約制)**は令和6年2月1日(木)より再開いたします。

2023年11月1日～		月	火	水	木	金
内科	一診 (予約制)	中田	谷口	井川	谷口	井川
	二診 (予約制)	平原	高見	吉田	平原	高見
	三診 (予約なし)	吉田	中田	谷口	鳥大 (井川)	平原
	専門外来 (予約制)	井川 (ペースメーカーチェック)			高見 (禁煙外来 物忘れ外来)	門脇 (糖尿病内科)
外科	(鳥大) 平岡	平岡	(鳥大) 平岡	平岡	平岡	
整形外科 (予約優先)					(鳥大)	
小児科	(鳥大)	第3火曜(PM)は小児循環器				
耳鼻咽喉科					(鳥大)	
眼科 (予約優先)				(鳥大)	(鳥大)	
皮膚科		池原				
内視鏡・エコー (予約制)		吉田	中田			

第4回 日南病院あり方検討委員会

令和5年10月10日（火）に第4回日南病院あり方検討委員会を行いました。前回の委員会で「将来の理想の病院像を病院職員がどう考えているのか是非聞かせてほしい」と委員の方から意見をいただき、病院からオプザーバーとして10名の職員が出席し、うち4名がそれぞれの思いや考えを意見発表、その後委員の皆さんと職員が意見交換を行いました。そして、前回に引き続き新病院の規模・機能等についても検討しました。

療養病床の今後の方向性について

【令和5年度末で介護療養病床制度が廃止】
日南病院では令和6年4月以降は当面の間、医療必要度の高い方の対応を行いつつ、一定の範囲で介護ニーズに対応できる医療療養病床に転換する方針を決定しています。日南病院での受け入れが困難な場合も想定し、郡内施設等における介護連携も協議中です。
将来的には人口減少予測に伴う患者数減少が見込まれるため、日南病院の医療療養病床の一部を介護医療院（介護保険対応施設）に転換し、町内完結型のケアミックス病院を目指します。



病院職員との意見交換

【意見発表者4名】

① 小谷奈津美看護師（一般病棟）

日南町を元気にしたいという思いから「自分らしい人生を支えるプロジェクト」を立ち上げ、対象者（患者さん等）が自分らしい人生を大切な人と過ごすためのサポートをしています。また、看護師がここでやりたいと思ったことが叶えられるように環境の整備やサポートを病院全体でしてほしいと思っています。

② 西田翔看護師（外来）

医療者は2つの「生」を支える役割があると考えています。一つは「生命を守る」役割、もう一つは「生活を支える」役割です。対象者の生活を支える医療について、もっと充実させる必要があります。住民さんの本当の声、ニーズが拾えればそこから新たなサビスの提案もできると考えています。

③ 松本絢子主任（医事課）

「出かける医療」、「患者さんに近い医療」を今後も日南病院の強みとして活かしていきたいです。病院、行政、福祉、福祉、住民さんが輪となり、「患者さん（住民さん）」を輪の中心として囲み、お互いが支え合える場を広げていきたいです。病院Ⅱ治す所ではなく、病院Ⅱ幸せにする所、それが常識になるモデルの病院、町にしていきたいです。

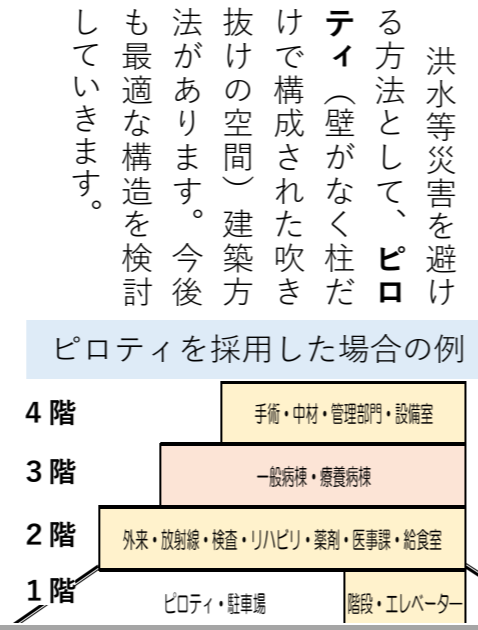
④ 田辺大起科長（リハビリテーション科）

「地域医療」が私たちの職場です。これまで地域医療の最後の砦として頑張っているという積極的な医療を提供してきました。「町は大きなホスピタル」という理念の基、「今」に合ったやり方を模索しつつ、住民さんと共に地域医療・ケアの最後の砦として、今後もここにあり続けたいと考えています。

新病院の主な役割

- ① 患者サービスの向上
- ② 医療と介護と福祉が連携し、頼りになる病院
- ③ 地域包括ケアシステムの維持・発展
- ④ かかりつけ医機能の充実
- ⑤ 総合診療体制の確立
- ⑥ 救急医療機能
- ⑦ 歯科・口腔ケアへの取り組み
- ⑧ へき地医療の拠点機能
- ⑨ 人員体制の確立
- ⑩ 医師や看護師の研修の充実
- ⑪ 自然災害に強い施設整備
- ⑫ 利用者に配慮した施設整備
- ⑬ 新興感染症への対策
- ⑭ 経済性を考慮した施設整備

建物断面図【例】



タイプ別概算事業費

新病院を整形の敷地で移転改築した場合の概算事業費（設計費用＋工事費用・税込）です。浸水等災害を避けるピロティがある場合は、1階にエレベーター等の設備が必要となります。

【簡易版】	60床		75床	
	地上から建設	ピロティを設け2階を主階	地上から建設	ピロティを設け2階を主階
病院本体延床面積	4,800㎡	※ 8,850㎡	6,000㎡	※ 10,620㎡
工事費	33億5千万円	43億4千万円	41億7千万円	52億9千万円

※部分はピロティ、スロープを含む面積となります。

新病院の規模・機能

前回の委員会で提案した新病院の規模（案）に、病床数を60床として病床数を1病棟とする案2（追加）を提案しました。

項目	案1	案2（追加）	案3（旧案2）
開院時病床数	60床	60床	70床から75床
病棟数	2病棟	1病棟	2病棟
病棟構成	一般病棟 20床 (地域包括ケア病棟)	—	30床から35床 (一部、地域包括ケア病床)
	医療療養病棟 40床	60床 (一部、地域包括ケア病床)	40床
必要と考えられる看護職員人数	44名	40名	48名
概要	・令和12年の将来患者数を見込んだ病床数	・令和12年の将来患者数を見込んだ病床数 ・医療療養病床の1病棟一部、回復期	・感染症拡大時の受け入れ、救急告示病床の更なる充実を見込んだ病床数
病床機能	回復期 + 慢性期	慢性期	急性期 + 慢性期
共通機能	・地域包括ケア病床では、救急や感染症患者の受け入れなどの機能も担う。 ・医療療養病棟では、長期入院が必要な患者を幅広く受け入れる。		
将来の患者数減少に伴う再整備	・規模を縮小した病院 ・有床診療所+介護施設 ・介護施設		

新病院の診療体制（案）

新病院では今後、関係機関等と連携して体制を整備し、高齢者が利用しやすい病院機能を整備します。

【新設案】

診療科目 総合診療科、歯科
在宅医療 訪問歯科、訪問口腔ケア

第4回あり方検討委員会

◆新しい病院づくりに関する町民アンケート結果



病院ホームページに掲載してあります。ぜひご覧ください。